

## 第3回兵庫県クラブチャンピオンシップ(U-14)

### ～大会要項～

名 称： 第3回兵庫県クラブチャンピオンシップ (U-14)

主 催： 一般社団法人兵庫県サッカー協会 兵庫県クラブユースサッカー連盟

協 賛： 株式会社 MIKASA

日 程： 令和4年11月12日(土)～令和4年12月18日(日)

[1次ラウンド]

12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、23日(水)

[2次ラウンド]

12月3日(土)、4日(日)、10日(土)

[ノックアウトラウンド]

12月11日(日)、17日(土)、18日(日)

※19日の決勝進出チームは1日2試合

出場資格： (公財)日本サッカー協会及び日本クラブユース連盟に2022年10月31日までに第3種加盟登録を完了し、次の条件を満たすものに限る。

- 1.参加選手は自チーム以外のクラブチーム、又は中学校サッカー部に二重登録されていない選手11名以上で構成されていること。
- 2.2008年(平成20年)4月2日以降の出生者を対象とする。

表 彰： 優勝、準優勝チームに杯、3位の2チームには表彰状を授与する。

参加選手中、最も活躍した選手に最優秀選手賞を授与する。(連盟技術委員会が選考)

参加チーム中、最もフェアなプレーをしたチームにフェアプレー賞を授与する。

## 第3回兵庫県クラブチャンピオンシップ(U-14)

### ～大会規定～

#### 【競技方法】

##### 1. 大会形式：[1次ラウンド]

令和4年度高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会関西大会出場15チーム及びクラブユース選手権秋季大会関西大会出場9チームを除く参加32チームを、4チーム×8グループに分け、1回戦総当たりのリーグ戦を行う。各グループ上位1チームの計8チームが2次ラウンドに進出する。

##### [2次ラウンド]

令和4年度高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会関西大会出場15チーム及びクラブユース選手権秋季大会関西大会出場9チーム、予選ラウンド各グループ上位1位の8チームの合計32チームによる、4チーム×8ブロック総当たりリーグ戦を行う。各ブロック上位2チームの16チームがノックアウトラウンドに進出する。

なお、抽選については11月23日に抽選する。フリー抽選とする。

##### [ノックアウトラウンド]

2次ラウンド8ブロックの上位2チームの合計16チームによるノックアウト方式によるトーナメント戦を行う。

##### 2. 競技規則：2022年日本サッカー協会最新の「サッカー競技規則」による。

試合球は各チーム大会指定のボールを持ち寄りとする（抽選会時に配布）

##### 3. 試合時間：予選リーグは60分（ハーフタイム5分）とし、競技時間内で勝敗が決しない場合は引き分けとする。

決勝トーナメントは60分（ハーフタイム5分）とし、競技時間内で勝敗が決しない場合はPK戦方式にて勝敗を決する。

※決勝戦のみ延長戦（5分-5分、ハーフタイムなし）を行う。

##### 4. 1次ラウンド：①勝ち点は、勝ち＝3点、引き分け＝1点、負け＝0点とし勝ち点の多い方を上位とする。

②勝ち点と同じ場合、得失点差の多い方を上位とする。

③勝ち点、得失点差ともに同じ場合、得点の多い方を上位とする。

④③までが全て同じ場合は当該チームの対戦結果により決定するが、なお引き分けの場合、当該チーム代表者による抽選とする。

##### 5. 審判：[1次ラウンド、2次ラウンド]

主審、副審とも必ず審判資格を持った大人（高校生可）が行う。

但し、高校生が主審をする場合は兵庫県サッカー協会所属のアクティブ3級資格以上保持者のみとする。

第4審は成人で審判資格を持つ事が望ましい。

必ずレフリースーツを着用する。

##### [ノックアウトラウンド]

主審を兵庫県サッカー協会審判委員会に依頼。副審は必ず審判資格を持った大人（高校生以上は可）が行う。

必ずレフリースーツを着用する。

##### [準決勝・決勝]

主審、副審共に一般社団法人兵庫県サッカー協会審判委員会に依頼。

(審判不履行について)

大会期間中に審判不履行があった場合は主催者側で処置を決める。

6. 警告退場：本大会中に警告を2回受けた選手は本大会の次の1試合に出場できない。

又、退場を命じられた場合は、次の1試合に出場することができない。

本大会の懲罰は、(公財)日本サッカー協会の懲罰規定に準ずるものとし、その後の処置については本連盟規律フェアプレー委員会で協議のうえ、(一社)兵庫県サッカー協会規律フェアプレー委員会で決定する。なお、連盟規律フェアプレー委員会は本連盟理事長、規律担当理事及びチャンピオンシップ担当事務局とする。退場による出場停止処分は同一大会に同年度における同一大会とする。また、大会の終了等によって残存した出場停止処分については順次、次の公式戦に適用される

(2014年4月1日 出場停止の消化に関する規定の変更 懲罰規定第4条)

7. 選手登録：エントリー 試合毎に25名をエントリー

**※事前エントリーはありません。但し、大会期間中の背番号変更はない方が望ましい。**

試合当日はメンバー用紙を1試合につき2枚用意(複写)して試合開始30分前までに、先発11名に○印、交代要員14名以内に△印をつけて四審へ提出する。

1次ラウンドにおいての選手交代は登録した25名の中から**再交代**できる。

**2次ラウンド、ノックアウトラウンドにおいての選手交代は、登録した25名の中から14名以内で交代できる。再交代は認めない。**

(選手交代の場合、四審に確認をして行う。選手交代用紙は使用しない)

4種登録の選手は3名まで出場可能とする。但し、同一クラブと認められる4種チームで事前に一般社団法人兵庫県サッカー協会に申請書を提出したチームである事。これは、救済措置である。**※出場する場合は選手証の提出をすること。**

8. ユニフォーム：・色違い (GK用を含む) を2枚用意し、背番号は必ず2着とも一致させる。

又、パンツに番号を付けている場合にはその番号も一致させる。

・日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に準じる。

・胸番号のついたユニフォームの着用を義務付ける。

・ユニフォームは当該チームで予め話し合っておくこと。

・用具の緩和について

①ソックステープ等の色は問わない。

②アンダーシャツの色は問わない。チーム内で同色のものを着用する。

※両チームが一色のみアンダーシャツを所有し、どちらかのユニフォームと色が重なることで、審判団や両チーム間で識別が困難である場合は、ユニフォーム色を優先し、アンダーシャツの着用は認めない。ユニフォームと識別はできるが、両チームが同じアンダーシャツの色彩の場合、コイントスでアンダーシャツ着用チームを決定する。

③アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。原則チーム内で同色の物を着用する。両チーム同士が一色のみアンダータイツを所有し、アンダータイツの色が重なることで、審判団がチームの識別が困難である場合は、コイントスでアンダータイツ着用チームを決定する。

④ユニフォームのデザイン。ロゴなどが異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。(ピブスの着用は認めない)

9. 試合の成立：試合開始時にピッチ上に選手が11名に満たないチームは棄権とみなす。リーグで棄権のあった場合は当該チームの試合を0-5の敗戦とする。これによってすでに行われた試合に遡ることはしない。決勝トーナメントで棄権があった場合も同様とする。いかなる理由も認めない。

不可抗力により試合続行が困難な場合は、主審、会場責任、当該チーム監督で協